

令和6年度 第2回松江市スポーツ推進審議会 議事録

1 日 時 令和6年11月5日(火) 10時00分～11時30分

2 場 所 松江市役所 第一常任委員会室

3 出席者

(1) 委員(12名)

安部委員、大塚委員、坂元委員、白水委員、中村委員、西村委員
福田委員、松浦委員、三島委員、森山委員、山縣委員、湯町委員
(欠席：岸本委員)

(2) 事務局

松江市文化スポーツ部 桑原部長

松江市文化スポーツ部スポーツ課 佐々木課長、山尾係長、三原、三代、江戸、下田

4 次 第

- | |
|--|
| 1 開会 |
| 2 あいさつ |
| 3 議事 (1) 第3期松江市スポーツ推進計画(素案)について
(2) その他 |
| 4 事務連絡 |
| 5 閉会 |

5 議事等の要旨

(1) 議事

第3期松江市スポーツ推進計画の素案について、事務局から説明の後、各委員から意見を聴取した。

(2) その他

特になし

6 会議経過 別紙のとおり

7 所管課等 松江市文化スポーツ部スポーツ課(電話 0852-55-5296)

会議経過

(10 時 00 分 開会)

1 開会

○事務局（山尾係長）

ただいまより令和 6 年度第 2 回松江市スポーツ推進審議会を開催させていただきます。本日、議事に入るまで進行を務めさせていただきます、スポーツ課の山尾でございます。どうぞよろしくお願いいたします。本日の審議会でございますが、会議は公開の会議とさせていただきます。報道機関をはじめ、一般市民の方も傍聴可能となりますことをお知らせいたしますので、あらかじめご承知おきください。

本日は、松江市中学校体育連盟の岸本委員が所用のためご欠席で、委員総数 13 名中、出席が 12 名となっております。なお会議は、概ね 90 分程度の 11 時半を終了予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

まず初めに、松江市文化スポーツ部長桑原賢司からご挨拶を申し上げます。

○桑原部長

皆さんおはようございます。文化スポーツ部長の桑原でございます。本日はお忙しいところ本審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また日頃より本市のスポーツ行政の推進につきましてのご理解とご協力いただいておりますこと、重ねてお礼を申し上げます。

前回の審議会では、各活発なご意見、ご議論いただきまして、非常に実りある審議会になったと思っております。大変ありがたく思っているところでございます。本日は第 3 期スポーツ推進計画の素案につきましてご議論いただきますとともに、次年度以降に進めていく具体的な実施計画につきましても、皆様方からご提案いただきまして、計画策定と事業実施の取り組みの方向を定めて参りたいと、このように考えておるところでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

先般、12 月 1 日に開催されます国宝松江城マラソンの申し込みの締め切りがございました。フルマラソン、それからファンラン合わせまして 4,552 名の方にお申し込みいただいたところでございます。コロナ禍が明けましてからの最多の申し込みの数となりまして、スポーツの力が徐々に回復していることを改めて感じ、喜ばしく思っているところでございます。スポーツの力がコロナ前に戻り、コロナ禍を超えて、市民の皆様にスポーツを通じまして、松江にいてよかったと思っただけできるよう、我々も本計画を策定いたしまして事業を進めて参りたいと考えております。

委員の皆様にはまた専門的見地に立った多様なご意見をいただき、ご議論をお願いさせていただきたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（山尾係長）

それでは議事に入らせていただきます。議事進行を松浦会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○松浦会長

皆さんおはようございます。今日は大変お忙しかったと思いますが、都合をつけて、13名中12名の皆さんがお集まりをいただきまして、この会を盛り立てていただこうと、そういう決意のもとにお集まりいただき感謝を申し上げているところでございます。部長から話がありましたけれども、いろいろスポーツが盛んな時期になって参りました。このところでは、久方ぶりに松江市民大運動会が開催されまして、大変皆さん熱心に取り組んでいただいていると思っております。ただ、そこから聞こえてきたのは、それぞれの地区で組織が非常に弱くなっている。コロナの関係で、なかなかこういう運動会のような事業がなかったのも、ネットワークが少し緩んでいるんじゃないかなというお話がありましたし、地区によっては不参加の種目もあったわけでもございまして、なるほどなと思ったところでございます。いずれにしても、大きな行事をやることには、地域の力が必要でございます。

その力をどう付けていくか、この会の方向性にも影響することでございますので、皆さん方にも十分ご理解をいただき、ご発言を賜ればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。議事進行につきましては、ご協力をいただきまして、効率の良い会にしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは早速でございますけれども、議事に入らせていただきます。第3期松江市スポーツ推進計画について、事務局から説明をお願いしたいと思います。

○事務局（佐々木課長）

松江市スポーツ課長をしております佐々木と申します。まず、**資料 1** 推進計画の素案をご覧くださいと思います。第1回の会議の中で、大きな枠組みというのはご説明させていただいたのですが、その後皆様方からも会の中でご意見をいただきましたので、そういったものも踏まえながら今回この素案というものを作らせていただきました。すべてお話しするとちょっと時間が随分かかってしまいますので、要点をご説明させていただければと思っております。

まずは1ページをご覧ください。「1. 第3期松江市スポーツ推進計画の策定にあたって」ということで記載しております。「(1)趣旨」につきましては、第2期計画策定の経過から、コロナ禍で活動ができなかったこと、また第3期につきましては、第2期に活動できなかったものをまた再び復活させていくということ。加えて、国スポ・全スポへの取り組みというものを入れながら、再スタートを切る計画である、ということを文章として記載させていただいているところでございます。

続きまして、2 ページ「(2)計画の位置付け」をご覧ください。こちらは国のスポーツ基本法に基づきながら、松江市総合計画というのを上位計画として位置付け、「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」を実現する計画としていただいております。次に「(3)計画期間」でございすけれども、前回、皆様にもお伝えさせていただきましたように、国スポ・全スポが 2030 年に開催されますので、こちらが終了するまでの 6 年間の期間としていただいております。次に「(5)進捗管理・見直し」でございすけれども、年に 2 回の審議会を開催させていただきながら、この計画についての進捗管理をするとともに、随時、計画については見直しをさせていただくというような考え方で整理をしているところでございす。

続きまして、3 ページからの「2. 計画策定にあたっての松江市の現状と課題」というところでございす。まず「(1)第 2 期松江市スポーツ推進計画の検証」についてですけれども、こちらにつきましては第 1 回の審議会の中で、数値については皆様方にもお伝えをさせていただいたところでございまして、大きく変わっておりません。ただ、その時から新たに加わった数値をご説明させていただきますと、まずは 3 ページの「【基本方針 1】ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」の中の「①成人の週 1 回以上のスポーツ実施率」でございすけれども、今年度の数値が出まして、42.8%、こちらを加えております。昨年から微増しているところではございすけれども、目標の 65%にはまだ大きく届いていないというような状況でございす。こちらについてまた後程、説明をさせていただきたいと思っております。続きまして 5 ページ「【基本方針 4】スポーツによる地域活性化」の「①国宝松江城マラソン参加申込者数」でございす。こちら 2024 年度の新しい数値がわかりまして、先ほど部長も申し上げましたけれども、4,552 名が参加いただけるということになっております。見ていただいておりますけれどもコロナ禍が明けまして大分人数少なくなっていたものが、今、徐々に戻りつつあるというような状況でございす。

続きまして、6 ページをご覧ください。と思います。「(2)市民アンケートから見える現状と課題」についてでございす。先般、松江市の総合計画の検証の中で、市民アンケートをとらせていただきました。また、スポーツ課独自といたしましても、市民の皆さんにオンラインアンケートをとらせていただきました。その結果について記載しておりますけれども、こちらについては、参考資料 1と参考資料 2というものがございすので、そちらをご覧ください。と思います。参考資料 1でございすけれども、こちらは松江市の総合計画の進捗に関するアンケートでして、条件としましては、無作為に抽出をしました市民の 3,000 人の皆さんにアンケートをとらせていただきまして、1,283 名の方に回答いただいております。こちらの中の「市民-22」というページには、先ほどもご説明しました通り、「週に 1 回以上スポーツに取り組んだ人の割合」が 42.8%となっているところでございす。そして「市民-24」と書いてあるページでございすけれども、こちらでは、スポーツに取り組んでいらっしゃる方に、その理由というものを伺っているところでございす。こちらの中で言いますと、「仕事や家事が忙しいから」、「年をとったから」とか、

というところもありますけれども、その下のほうに「面倒くさいから」というような理由でスポーツができていないという回答になっております。続きまして参考資料 2 というのをご覧いただければと思います。こちらは、我々スポーツ課が、スポーツの実施状況に関するオンラインでのアンケートをとらせていただいたところでございます。こちら自体は、市のお知らせといたしまして、ホームページなどでお知らせをしていたものでございますので、どちらかというスマホを利用される 20 代から 50 代の働く世代を中心にご回答いただいた結果となっております。この中の四角囲いの円グラフの下に記載しておりますけれども、「年に 1 日以上、運動やスポーツを実施した人の割合」は 94.3%、「週に 1 日以上、運動やスポーツを実施した人の割合」というのは 63.2%というふうになっています。また、その下の回答詳細の一番上のところですが、過去 1 年間に実施した運動やスポーツの種類につきましては、ウォーキングですとか、ランニングなど、比較的身近に取り組める運動というのが非常に多くなっているというところがございます。またそのひとつ下ですが、「過去 1 年間に運動・スポーツを週 1 日以上実施できなかった理由」というのも尋ねておりますけれども、こちらについても、「仕事や家事が忙しいから」、或いは「こどもに手がかかるから」といったような回答が多くを占めているというところがございます。これら 2 つのアンケートがありますけれども、週の運動の実施回数とかそういった割合は異なっておりますけれども、総合計画につきましては、無作為の抽出で幅広い市民の皆さんにお願いをして回答いただいております、また回答数も多いことから、この市民アンケートの数値というのを今までもスポーツ推進計画の中で数値として入れさせていただいておりますので、こちらの総合計画のアンケートの結果というものを数値として採用させていただいております、スポーツ課で行いましたこのオンラインアンケートというのは、あくまでも参考値として解釈をいただければと思います。

そして、先ほどのページに戻らせていただきまして、資料 1 の 6 ページですが、こういった内容について、現状と課題ということで記載をさせていただいているというところがございます。続きまして、7 ページですが、「(3) 島根かみあり国スポ・全スポへの対応」ということにつきましても、今後出てきますので、そういった内容も記載させていただいているところがございます。続きまして、8 ページの「3. 計画の基本的な考え方」というものをご覧いただければと思います。こちらは前回の審議会で基本的な枠組みをお示したところですが、その中でいただいたご意見も踏まえて、我々の中で整理し直した考えでなっております。まずは基本理念ですが、【スポーツでつくる「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」 ～スポーツが松江の存在感を高める～】としております。前回は、「スポーツが松江の存在感を高めた」と市民が実感できるまち」というふうにしておりまして、こちらにつきましては委員の皆様方からも、少しわかりにくいのではないかとか、市民が中心の言葉がいいのではないかというようなご意見等いただきましたので、総合計画の理念である「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」を、スポーツを通して実現をするということで、基本理念を変えさせていただいているところがございます。続く基本目標と

重点施策、また重要成果指標については、変えてはおりません。ひとつだけご注意いただきたいのが、9 ページの重要成果指標の中の、「①成人の週 1 回以上のスポーツ実施率」の目標値が 70%となっております。こちらの第 2 期の計画の中では 65%となっているのですが、平成 4 年にスポーツ庁が目標値を 70%に上げておりますので、そちらのスポーツ庁の計画に合わせて変更をしているというところでございます。

次に 10 ページをご覧くださいと思います。こちら計画のイメージ図になります。こちら基本前回とは変わっておりませんが、基本理念を変えさせていただいておりますのでこのような形になっているところでございます。続きまして 12 ページ以降では、推進計画のための取り組みということで、5 つの基本目標を実施していくための基本施策等を作成をしているところでございます。これも前回お示しさせていただいたものの中で、文言の整理とかポイントを整理してちょっと言い回し等を変えたというような内容になっているところでございます。

まずは 12 ページの「①スポーツによるひとづくり」ですが、こどもから高齢者まで、或いは競技志向から健康志向の方まで、すべての人がスポーツに親しむことができる機会を提供することを目標としています。ここでは、「①ライフステージや個性・特性に応じたスポーツの推進」と「②幅広い志向に応じたスポーツの推進」ということで分けているところでございます。ライフステージの分類としましては、年代に応じた分類、或いはスポーツをする場所としての地域活動としての分類、そして、今回力を入れて取り組む、障がい者スポーツの 3 つに分類しているところでございます。また、幅広い志向に応じたスポーツの推進としましては、健康志向の方、競技志向の方、それぞれのスポーツ推進というのを加えさせていただいているところです。成果指標につきましてですが、こちら今までも変わっておりませんが「④」を新しく加えさせていただいております。「全国大会・国際大会出場者数」ということで競技力の向上を目指した数値となっております。松江市では、全国大会や国際大会に出場される際に激励金というのをお渡ししておりまして、昨年度の実績が 416 名でございましたので、今後の目標として 500 名ということで数値を入れさせていただいているところでございます。

続きまして、13 ページ、「②スポーツによるつながりづくり」です。このつながりづくりというのは、市内のつながりをつくるということでして、市民がスポーツを通じて、市民同士の絆を深めることと、スポーツを通じて松江に対する誇りですとか、シビックプライドを醸成して、地域の活性化を図ることを目的としているものでございます。ここでは、地域内の交流の推進というものと、シビックプライドの醸成の 2 つの項目に分けているところでございます。地域内交流におきましては、各地域でのスポーツ活動の活性化、また市民体育祭などによるスポーツイベントを通じまして、地域間交流の推進を目指すということで地域内と地域間の交流というものを 2 つの方針として目指していくところです。またシビックプライドの醸成につきましては、市出身のアスリートですとか、スポーツ功労者の顕彰・表彰、或いはプロスポーツや「みる」スポーツの推進、そしてトップアスリートとの交流と

いうものを掲げているところでございます。成果指標につきましては、島根スサノオマジックの観客数につきましては新しい B リーグ参入指標として 4,000 人以上というのが必要になっておりますので、これまで通りとしておりますけれども、ひとつ皆様方にもご相談させていただきたいのは、「①地域内の交流に関する指標」でございます。

今、課内でも現在検討しているところではございますけれども、なかなか地域で行われているスポーツ事業すべての数値を把握するということが難しく、皆様方から何か良いアイデアをいただけましたらありがたいと思っていますところでございます。

続きまして 14 ページの「③スポーツによるなかまづくり」です。こちらには、国内外のまちとの絆を深めることとしておりまして、具体的には国内の姉妹都市、国外の友好都市との交流に分けて、それぞれの目標を設定しているところです。成果指標は、これまでありませんでしたけれども、現在の交流数から少し増やすような形での交流ができればと考えているところでございます。

続きまして 15 ページの「④スポーツによるしごとづくり」です。こちらは、今年度設立する予定でありますスポーツコミッションを通じまして、スポーツを目的に松江に来る人を増やし、宿泊や観光消費額を拡大するなど、地域経済の好循環を生み出すこと。また、スポーツイベントの開催や市民のスポーツ人口を増やすことで、スポーツに関わる仕事を増やすこと。これらを目的とするものです。ここでは、「①スポーツと観光との連携」「②プロスポーツチームとの連携」「③スポーツ関連ビジネスの活性化」というものを掲げているところでございます。観光連携につきましては、スポーツコミッションというものを設立しまして、競技団体の皆さんと観光協会を結び付けたり、或いは合宿希望の団体にワンストップで情報提供できるような組織として、取り組みを進めたいと思っております。ちなみにスポーツコミッションにつきましては、観光関連だけではありませんで、例えば地域のスポーツに関わる団体ですとか、より多くの団体の皆さんが交流できる機会、こういったものを提供するようなことも考えておりまして、観光関連プラス地域スポーツの活性化、こういったものに関する取り組みを進めていくことを検討しているところでございます。またプロスポーツチームとの推進、連携推進につきましては、プロスポーツの観戦者を観光に結びつける取り組みとともに、昨年は島根スサノオマジックさんにもご協力をいただきまして、ふるさと納税の返礼品として出雲だるまと結びつけた商品を開発していただきましたので、こういった取り組みなども進めていければと考えているところでございます。続いてスポーツ関連ビジネスの活性化につきましては、先ほども申し上げました通り、本計画を通じてスポーツをする人が増えることで、関連のビジネスが増えることを目指しているところでございます。成果指標としてはこれまで通りとなっております。

最後に 16 ページ「⑤スポーツのどだいづくり」です。こちらはスポーツを支える人や組織の活動を支援するとともに、市民がスポーツに取り組むための環境というものを整備する内容となっております。基本施策としては、組織や人の育成、スポーツを推進するリーダーの育成、また地域指導者やスポーツ推進委員の育成、そういった方々の活動を支援するこ

と。また、スポーツを推進する組織の育成としましては、体育協会や競技団体、地域体育協会などの活動支援、そして障がい者スポーツのどだいつくりにも取り組んでいこうと考えております。スポーツ施設の整備と利活用につきましては、本市におきましては50の市営スポーツ施設がございますので、そういった施設の管理運営によって、より多くの皆様に利用していただけるように利活用の促進を進めていく、ということとしております。

以上が計画の素案となっております。

○事務局（山尾係長）

続いて、議事（1）2つ目「第3期松江市スポーツ推進計画 実施計画（素案）」について説明をいたします。**資料2**をご覧ください。先ほど説明のありました第3期松江市スポーツ推進計画（素案）は、【スポーツでつくる「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」】という基本理念のもと、5つの基本目標と、そのそれぞれに基本施策や取り組み方針、成果目標を定めた、令和7年度から12年度までの松江市のスポーツ推進の取り組みの方針を示すものでございました。これから説明させていただく実施計画は、その方針に基づき、担当課などが行っていく具体的な取り組みを体系的に示すものでございます。資料2の表の左側から、基本目標、それから基本施策、それから、取り組み方針と、その説明がございます。これらは、先ほど説明させていただきました、推進計画の体系を並べたものを横に並べたものでございます。それからその右半分が、には「具体的取組（既存のもの）」と「具体的取組（今後取り組むもの）」を記載させていただいております。この部分が推進計画に基づき行う具体的な取組になります。「（既存のもの）」の欄については、現在スポーツ課等で行っている具体的な取組を記載させておりますので、ご確認いただければと思います。既存のものについては、新しい推進計画のもとにおいても継続して実施して参りたいと考えております。そしてさらに、松江市におけるスポーツ推進をより着実に進めていくためには、新たな取り組みも必要であると考えております。そこで、「（今後取り組むもの）」という欄を設けているところでございます。これからここに新たな具体的な取り組みを加えていき、実施計画を策定していきたいと考えております。

今回の資料で、今後取り組むものと記載されているものは、8月29日に開催された第1回の審議会におきまして、委員の皆様から頂戴した意見の中から、こちらで具体的取組として挙げさせていただいたものでございます。前回の審議会におきまして、委員の方から、こどもにスポーツに興味を持ってもらう取り組みが必要という意見をいただいております。そこで、「ひとづくり」の「基本施策1」の「(1) ライフステージに応じたスポーツの推進」の欄において、「こどものスポーツ体験の提供」を挙げております。現在各地区で行われている放課後こども広場での体験のほか、委員からご意見ありましたこども食堂での体験の提供などもここに入ると考えております。それに関連して、同じ欄には、「こどものためのスポーツ見本市の継続開催」という取り組みを挙げております。こどものためのスポーツ見本市は、今年度、創立100周年を迎えた松江体育協会が、記念事業として主催されたものでございまして、6月30日に市総合体育館を会場に、14の競技団体と、松江市スポーツ推進

委員協議会の皆様のご協力のもと、競技のデモンストレーション体験会、親子で運動に親しむブースを設け、小学校3年生までのこどもたちが様々な競技に挑戦しました。やはりこういった取り組みというのは大変有意義であり、我々としても継続して開催できるといいなと考えておりまして、ここに記載させていただいたものでございます。

続いて、簡単な環境整備として、道路などの身近な場所に、ここからここまで何メートルというような標示があると、ウォーキングですとか、ジョギングしてみたい気持ちを高め、活動を促すことができるのではないかというご意見をいただいております。取組方針「(2) 身近な場所で取り組めるスポーツの推進」の欄に、「身近な場所への距離表示」と記載しております。

それから、障がい者スポーツの推進に関連して、手軽なニュースポーツのイベントと一緒に、障がい者スポーツのイベントを行うと広がりやすいのではないかと。また、スポーツサークルなど、いつ何を、どこでやっているのかわからないので、そういった情報がわかる総合窓口のようなものが必要ではないかというご意見をいただきました。そこで、「(3) 障がい者スポーツの推進」に、障がい者スポーツイベントとニュースポーツイベントの併催を挙げさせていただき、また資料は2ページ目の下ですけれども、「どだいづくり」①の「(3) 障害者スポーツを支える活動の拡充」のところに、スポーツサークルや練習会に関する情報の一元化、情報発信と加えさせていただいております。

また、委員からは、公民館での生きがい事業を紹介いただきました。その他にも、地域では、地域体育協会ですとかスポーツ推進委員の皆さんのスポーツ行事が行われているところがございます。そういった地域でのスポーツ活動の取組をより効果的にするためにではございますけれども、1ページの「つながりづくり」の①の「(1) 各地域におけるスポーツ活動の活性化」に挙げているとおり、地域スポーツイベントを宣伝することにより、参加者を増やす取組、例えば具体的には市報やSNSでの紹介などを考えており、これを挙げておるところでございます。

その他、2ページの「しごとづくり」については、先ほど説明があったとおりですけれども、今年度中に設立予定のスポーツコミッションを通じた取組をする必要があることから、今後取り組むもの欄に、スポーツコミッション事業や、ボランティアバンクの創設を挙げております。

以上、今後取り組むものについて現段階で記載したものについて紹介いたしました。今後取り組むべき具体的取組につきましては、これから市の各課に意見照会をするほか関係団体へのヒアリングやワークショップを開催する際にもご意見をいただきながら、ここに記載できるものを増やしていきたいと考えております。また、本日お集まりの委員の皆様につきましても、先ほど説明した推進計画の素案についてのご意見のほか、こちらの具体的取組についてもご意見を頂戴したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。なお、第3期松江市スポーツ推進計画の策定後は、年2回開催する予定である松江市スポーツ推進審議会において、その取り組み状況を把握するとともに、それぞれの事業を検証・評価す

ることで、進捗管理を行うほか、必要に応じて、計画の見直しを行うこととしております。あわせて、こちらの実施計画の具体的取組につきましても、必要に応じて、追加・修正していく予定でありますことを申し添えます。

実施計画についての説明は以上でございます。

○事務局（佐々木課長）

続きまして、第3期松江市スポーツ推進計画の策定スケジュールについてでございます。**資料3**をご覧ください。前回の委員会の際には、今回の2回目で素案を作るに当たりまして関係団体へのヒアリング等を実施するという事で予定をしておりましたけれども、大変申し訳ございませんけど、そういったところが実施することができませんでした。今回改めて作成したスケジュールの中では、本日お示しさせていただきました素案につきまして、皆様方から本日伺ったご意見等を踏まえて、再度修正して参りたいと思います。その上で、皆様方に改めて修正案のご確認をいただいた後に、12月中旬からパブリックコメントを進めさせていただきたいと思っております。その際に同時に関係団体のヒアリングですとか或いはワークショップというものも開催をしながら、こういったご意見を取りまとめさせていただいた上で、2月上旬のところで、第3回の審議会を開催させていただき、本計画の最終案を提案、ご議論をしていただきたいと思いますところでございます。スケジュールについては以上となっております。

この後の意見交換につきましては、先ほど係長からも申し上げましたけれども、今回の計画の素案の方向性についてのご意見と、実施計画の具体的事項についてご意見、ご議論いただきますと大変喜びますので、どうぞよろしくお願いいたします。早口で一気にご説明をしまして恐縮でございますけれども、説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○松浦会長

ありがとうございました。これからご意見お伺いしたいということでございますが、意見の集約についてはいろんな方法あるかと思っておりますけれども、時間も限られておりますので、総括で全体のところで何か、皆さんそれぞれご意見を出していただいて、その意見で何か集約が必要であれば集約をさせていただきたい。対象は、今説明があったすべての案件について、ご意見、ご要望を承りたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、口火を切って私からでございますけれども、いろいろ説明ございましたけれども、これにはおそらく予算・財源が必要だと思っています。基本的な話だと思いますが、財源のことについては、どういう考え方をして質問なり提案をしたらいいのか、説明をお願いしたいと思います。

○事務局（佐々木課長）

予算につきましては、今回ご提案いただいたものが、すべてそのまますぐにやりますということはなかなか言えないのですけれども、当然、やるべきものについては予算がないと進めていくことができませんので、今回ご意見いただきましたものを踏まえて、既存のものとの合体事業とか精査したりとか、そういったことも含めて整理させていただきながら、できるだけ取り組んでいけるようにしたいと考えているところでございます。今回ご議論いただく際には予算はとりあえず置いといて、思いのままおっしゃっていただければ喜ぶますのでよろしくお願いします。

○松浦会長

何か大風呂敷を広げられましたけれども。そういう形でお考えのようでございますので、何なりと、ご質問ご意見を賜りたいと思いますがいかがでございますか。

(湯町委員 挙手) 湯町さんどうぞ。

○湯町委員

何を言ってもいいということですので、思い付いたままにしゃべらせていただきます。

素案のところの具体的取り組みで今年度、私どもが実施いたしました 100 周年の記念事業、「こどものためのスポーツ見本市」を今後もやったらどうかということ saying いて、嬉しいなと思っているところでございます。当日 1,500 人ぐらいのこどもさんが参加されまして、なかなか日頃実施することができないようないろんな競技、それも 1 日で何種目もいろいろ経験していただくということで実施したものでございます。昔と違って、最近では広場でボール遊びとかもできませんし、キャッチボールもキックもできませんし、何をやっても駄目だというようなことでなかなかこどもがスポーツに親しむ機会がなくなってきた。また、もうすでに定着していますけれども、小学校の部活動も地域に移行してしまっていて、なかなか親御さんの時間的な余裕と経済的な余裕がないとそれにも参加できないというこどもさんがたくさんいて、たまの日曜日にいろんな競技を楽しんでみてはどうかということで企画をさせていただいたということです。小学校低学年からいろんなスポーツに親しむ。ここはいいのですけれども、逆に、あるひとつのスポーツに特化してしまうという子もいるわけですし、いろんなスポーツをすることによって、バランスのとれた発達を促すというふうな気持ちも込めて実施をしたところでです。

この見本市というのは年に一度、単発でやったものでございまして、これをもうちょっと何とかできないのかなって、なかなか私ども実現できないところですけども、以前、大人が対象でしたけど、スポーツ健康大学、市民大学に発展的解消されましたけども、いわゆる「こどものスポーツ学習塾」じゃないですけども、月に 1 回ぐらい、年 12 回のペースで、その日その日で種目を限っているような経験をしてもらおうと。その中で、自分に合ったスポーツを見つけるということで、球技、例えばバレー、バスケ、サッカーの日もあれば、武道の日も、ラケット競技の日も、冬場はスケートとかもやってみる。そういったことができるよ

うな学習塾のようなものを企画してやってみたらどうかというふうなことも思ったところ です。

思い付きばかり言って申し訳ないのですけれども、一番最初にこの 100 周年の企画考えるときに、「こどものスポーツ学童保育」みたいなものできないのかなって考えていたところ です。ただ、なかなかこれを全地域でやるっていうのも難しいかなと思って、実現には至っていないのですけれども、先ほど放課後こども広場の云々とありましたけれども、例えば、今すでに実施してるかもしれませんが、たくさん児童クラブがあると思いますけれども、そこを巡回指導するような、それもいろんな種目を、今日はこれ、今日はこれというような、いろんな種目をバランスよく経験させてやりたいな遊びの中でと思いましたので、思い付きで申し訳ないのですけれども、提案をさせていただきました。

○松浦会長

ありがとうございます。早速提案いただきましたが、私がスポーツに関わってから 50 数年、その間私が唱えてきたのは、小さい子どもさんはいろんなものを経験してもらう。食物に例えれば、偏食をしない。いろんなことを経験してもらいたいというのが私の終始一貫した持論でございます。たまたま湯町さんご意見が一緒になってしまっただけですが、他の皆さんいかがでございますか。

(山縣委員 挙手) はい、どうぞ。

○山縣委員

運動できない子どもたちをどうかしてくださいって前回頼みまして、私も具体的に本当にどうやればそれができるのかなって考えてみて、今聞いたら、すごくいいことを言ってくださいました。児童クラブを順番に巡回して回るっていうご意見ですよ。いいと思ったのですが、指導に行ってくれる方がいるのかなあって。巡回で行ってくださる方の確保はどうするんだろうと、その辺がちょっと不安になりまして。一番実現できそうなのが、こども食堂、今頃は誰でも食堂ですよ。こどもに限らず、ちょっとご年配の方でもどなたでも来てくださるっていうようなことなので、そこで一番実現可能なのが、ラジオ体操とまつえっこ体操。松江をPRするのにとてもいいのかなと思って。スポーツ推進委員では今年ラジオ体操の指導者の資格を取られた方がたくさんおられるんです。何人かそういう方々に、そういう資格を取ってちょっと指導の自信がある方を募って、巡回で回る。これならできるんじゃないかと。それに伴ってラジオ体操とまつえっこ体操のCDとパンフレットなんかをスポーツ推進委員に配布していただくと助かると思うんですけど、どうですかね。

あと、このオンラインアンケートでスポーツを1年間にした場所の回答を見たら、公共施設とかランニングとか書いてあって、公民館が全く書いてないんですけど。アンケートには公民館も入っているんでしょうか。

○事務局（三原）

スポーツ課の三原と申します。今回オンラインアンケートをとらせていただいたんですが、回答の上位5項目だけを記載したものをお配りしておりますので、資料には入っておりませんが、選択肢には公民館もございまして、9名、2.1%の方が、公民館でこの1年間にスポーツをしたというふうに回答されています。

○山縣委員

公民館も結構サークル活動が盛んで、学習発表会とか各地域で発表されたり、文化祭とかでダンスや体操、レクリエーションダンスや太極拳なんかも発表されてるので、案外公民館を活用して運動されている方も多いんじゃないかと思っておりませんが、いかがでしょうね。

○松浦会長

ありがとうございました。活発な意見が出だしましたがいかがでございしますか。

○事務局（佐々木課長）

ひとつだけよろしいですか。先ほどの公民館のアンケートの関係は、やっぱりちょっとオンラインでのアンケートということで、回答していただける方にはどうしても、目にした方になってしまうところがあったのでちょっと偏りが若干あるのかなとは思っているところです。今おっしゃっていただいたように公民館の活動とかで、我々がやっぱりわかっていない部分ってたくさんあると思いますんで、実施計画の中にも掲げさせていただいているんですけども、そういった今ある活動というものをいろんな方に知っていただいて、参加していただくようになるっていうのもひとつ非常に大きなスポーツの推進になるのかなと思っておりますので、これについては計画の中で、来年以降の取り組みの中で進めていければと考えているところでございます。

○松浦会長

ありがとうございます。
森山さんどうぞ。

○森山委員

山陰中央テレビの森山と言います。前回所用により欠席をして今日初参加になります。前回の議事録も読ませていただいておりますし、今回も事前にいろいろと読ませていただきました。アンケートも、家事とかそういうこと忙しくて、やりたいんだけどなかなかできてないって方も結構多いと思うんで、そういった環境整備。あとやっぱり実際にスポーツをされた方も、道路とかが多い。そういう意味で、やっぱりインフラの整備が本当に重要かなというふうに考えております。僕は東京支社の勤務が長かったので、公園とかそういうスポー

ツができる場所が圧倒的に田舎は少ないのかなって。なかなか今から公園とか施設を整備するのは莫大な予算がかかりますからなかなか難しいと思うんですけど、ジョギングとかウォーキングは道路とか宍道湖岸で簡単にできるんですけど、もう少し新しいスポーツも、例えば、若い人が取り組んでいるスケボーとか、バスケとかテニスの試合をするとすると人数も必要ですしちょっとハードルが高いんでしょうけど、ちょっとした壁打ちのコートがあったり、バスケットボールのコートがいたるところにあるような感じでいくと、皆さん気軽に、1人や2人でも親子でも参加できるのかなという気がしておりますので、そういったものの整備をやる必要あるのかなというふうに思っています。

あと前回の議事録の中で、何でもかんでもっていうことじゃなくて、やっぱり松江らしさというものが非常に重要なかなと思っていまして、そういった意味では、市民レガッタというのが、皆さん非常に喜んでおられて、転勤で来られた方もレガッタに参加して非常にいい思い出になったと言われる。今年は松江の中心の大橋川で開催されたということで本当シンボリックなイベントかなと。ぜひ、この松江市民レガッタを充実させて、皆さんあんまりやったことのないイベントなので、ぜひこういったものに取り組んだらいいのかなっていうふうな気がしております。私からは以上でございます。

○松浦会長

ありがとうございました。新しい提案がありましてまた増えました。いかがでございますか。

(三島委員 挙手) 三島さんどうぞ。

○三島委員

本当にちょっと思い付きでちょっとお話しさせていただくんですけど、今の姉妹都市とのスポーツの交流ということで、宝塚市さんとか尾道市さんと今現在いろんな交流を持っておられるんですけど、松江市は珠洲市さんとも姉妹都市でありまして、珠洲市さん今の現状はなかなかスポーツの交流っていうのは難しいかもしれませんが、また将来に向けて何か交流とかを持てたらいいのかなあって思っております。実は松江市出身の知り合いが、今、珠洲市の学校の先生をしております、本当だったら地震があったときに家族でこっちに引き上げてきてもおかしくなかったんですけど、自分は担任を持っているから生徒たちが卒業するまでは責任があるということで、今でも残って向こうで頑張っております。地域の人とか生徒や保護者さんからは当然島根に帰られると思っていたらしく、春休みに向こうのスーパーで買い物をしていたら、先生いるのってびっくりされたそうです。今でもちゃんと残って向こうで頑張っている。そういう人もおりますので、ぜひまた今後、珠洲市との交流も検討していただけたら本当にありがたいなと思っております。以上です。

○松浦会長

ありがとうございました。都市間交流、姉妹都市いろいろございますけれども、私事で恐縮ですが宣伝をします。私は今年の8月、姉妹都市、宝塚市の大使に任命されました。20番目に私が入りました。宝塚市出身以外で初めてでございます。この間宝塚市のOBさんが1人お入りになり、もう1人入って現在は22人になったはずでございます。そういうところで私も人脈を持っているところでございます。よろしく願いいたします。手前の宣伝、終わしまして、次、ご遠慮なく発言をどうぞ。

(中村委員 挙手) はい、どうぞ。

○中村委員

失礼いたします。土曜日、日曜日、宇都宮で負けて、そのまま名古屋に入る予定でしたが、それでも1回帰らなアカンなということで、急遽出席させていただきました。

まずは基本理念が、「スポーツが松江の存在感を高める」ということで市民目線ということで非常に良い基本理念になったんじゃないかなと思っております。その上で、やっぱり今のこの現状をどういうふうに市民の皆様にお伝えをして、それが他人ごとの、誰かが勝手に作った目標とかじゃなくて、やっぱり自分ごと、我がごとと考えてもらうためにはどうしたらいいのか、そこのところの伝え方だったり、発信の仕方っていうところがすごく大事になってくるんじゃないかなというふうなことを思います。その中で、我々のチームの選手なんかを使っていただくも、キャッチーな感じで目につきますので、こどもさんなんかの目がいたりとか、いろいろスポーツに関心がない方なんかの目に入ったりとか、そういうふうなことがあるんだったら、ぜひともお手伝いをさせてもらいたいなというふうなこと考えておりました。

それからあと体験機会の創出ということで、やっぱりやっぱスポーツとのタッチポイントというふうなところ、ここのところをどう作っていくかということの中で、先ほどあったこども食堂、誰でも食堂というふうなことで、すごくいいアイデアだなと思って聞いておりました。ちょっと話がずれるかもしれませんが全国的にPTAの組織が、ちょっといろんな形で価値観の多様化なんではないでしょうか。ニーズがないのかどうかわかりませんが、いろんなコミュニティがちょっとずつちょっとずつ薄れていっているようなところをすごく憂慮しておりまして、加えまして、ご存じでしょうが、島根県は共稼ぎ率でいきますと全国上位ということで、北陸の次、4、5番目ぐらいにくるというふうなこともありますので、忙しいお父さんお母さんが、児童クラブであつたりとかってことだと、一石二鳥でいろんなことが解決できる部分があるんじゃないかなと思います。そういった意味ですごくいい機会じゃないかなというふうに思っています。

それとあと、ジョギングとかランニングとか、時間とか場所とか都合を問わないスポーツ。皆さんが言っているっていうことは、逆を言うと、やっぱり施設の利用の仕方とか、ここの施設に行ったらこういうことをやっていますよとか、或いは、施設の空き情報もそうかもしれません。そういったことも伝えることってすごく大事なんじゃないかなと思っています。

加えて、働き方改革なんかもあるんですけれども、土日お仕事をされてるサービス業の方も松江市は非常に多いので、土日イベントをやってもやっぱり刺さらない、イベント自体参加したいなと思っても来られない方もおそらくいらっしゃるんじゃないかと思うので、ウィークデーのもしかしたら夜の時間帯になるかもしれませんが、そういったところで我々も、大人のバスケットボール塾、初心者でも実際に見るだけじゃなくて体を動かしてみようかなことをやってみてはどうかなみたいなことも考えてるんですけれども。そういったウィークデーの時間のアフターファイブなんかを利用するような形のこともやっていけばいいんじゃないかなというふうに思いました。大変雑駁ですけれども以上です。

○松浦会長

ありがとうございました。経験に基づいたお話、大変参考になります。他には。
(白水委員 挙手) 白水さん、どうぞ。

○白水委員

事務局のご説明ありがとうございました。多くの資料をコンパクトにまとめていただきまして大変参考になりました。金融機関の立場から、気づいたところ2点だけ申し上げたいと思います。

1点目が、資料の15ページの「しごとづくり」のところなんですけれども、こちらの「①スポーツと観光との連携の推進」のところで、1点申し上げたいと思います。この記載のとおりで違和感ないんですけど、加えてもし可能であれば、今、インバウンドの取り組み、海外訪日観光客、こちらの取り組みが、松江でも国際観光課中心に今動いていますし、山陰全体でも今官公庁の予算を取って鳥取県島根県両方でかなりの動きがございます。そしてご存じのとおり円安の影響もあって、だいぶ国内は増えている。一方で山陰はまだまだ比率は少ないです。従って、このリピーターが今後どんどん増えていけば、首都圏から地方に動きが増えてくるんじゃないかというのが今、想定されています。そのためにも環境づくり、インフラづくり、コンテンツづくりというのをしっかり頑張っていこうという動きがありますので、ぜひこういう取り組みとも連携しながら、DMOの動きが今おそらくございますので、国際観光課など他の部署とも連携しながら、ぜひインバウンドの取り組みのやれることも可能であれば記載いただけるとありがたいというふうに思っております。

もう1点は、これも同じように15ページ目のところの「③スポーツ関連ビジネスの推進」のところでございます。こちらに記載いただいたとおり、これも周辺のいろんな取り組みをプラスアルファで増やしていくべきだと思いますが、やはり「しごとづくり」、地域にお金が落ちるという観点でいうと、金融機関の立場では地域特性として、少子高齢化が山陰は特に進んでいるという理解で、他の地域の外からいろんな健康データが欲しいみたいな話が来るケースがございます。要は予防医療の観点で、国内でも健康ビジネスが増えつつありますので、多分アンケートも見ていくと、もうちょっと突き詰めるといろんなデータが出てく

と思うんですが、例えば 60 才以上の高齢独身者の社会医療費、健康に必要な医療費用がどれぐらいにかかっているかみたいなものを調べると、そういう方々をスポーツに引き込めばより医療負担が減るという効果があると思います。どこの自治体もそうですけど、財政は制約がありますし逼迫していますので、自治体財政とか地域の特性を考えると、こういうところまでぜひ検討いただきながら、ビジネスにつなげていただけると非常にありがたいというふうに考えております。以上 2 点でございました。

○松浦会長

ありがとうございました。他の皆さんはいかがでございしますか。

(安部委員 挙手) はい、どうぞ安部さん。

○安部委員

松江市障害者スポーツ協会の安部です。前回の会議以降、いろいろ取り組みと加えていただいております。今日のお話の中でちょっと少し感じたことをプラスアルファですけれども、最初湯町さんから児童クラブとかを巡回してはどうかっていう話あったと思います。私も具体はないんですけども、学童のクラブだけではなくて、山縣さんも仰ってました公民館ぐらいでやると広さも取れると思います。そうするといろんなことができるんじゃないかなと。それから、特定の曜日とか、月 1 か週 1 とか、児童クラブさんもたくさんあるので、それを一気に、例えば第 2 水曜日は公民館でやりますみたいなことをやったらかなり集まるんじゃないかと。これも思い付きですけども先ほど感じました。一方、児童クラブの職員さんもその日はお休みするとか、余裕ができるんじゃないかなと。

それとどなたか、公園でボール遊びができる場が少ないっていうことありました。完全禁止ではなくて、例えば何曜日の午後は OK だよみたいな形が取れないものでしょうか。そしたら、結構はしゃぎ回れますよね。ということを感じました。

あともうひとつ、「どだいづくり」に関することですけども、いろいろイベントを行う。これはもちろん大歓迎で、そこに呼んでいただくとか広報していただくと非常に嬉しいです。その時にこれを市独自でもいいんですけども、せっかく県都の松江ですので、県の行事もいっぱいありますんで、県と一緒にやってやる行事を増やせないかな、というふうに思いました。そうすると開催側の負担も少しは軽くなるかなという意味もあるし費用的にもちょっと、という淡い期待を抱いております。あわせて施設そのものも、これは県の施設、これは市の施設って、利用する側にはどこが運営しているか関係ないんですよ。使えばいいんです。ですので、この辺も一緒になって運営するとか、どういったらいいかわかりませんが、そういうことができないかなということを感じました。とりあえず、終わります。ありがとうございました。

○松浦会長

ありがとうございました。続いてはいかがでございますか。
(大塚委員 挙手) どうぞ、大塚さん。

○大塚委員

観光協会の大塚です。観光と関係ないところで、一市民としての思いとしてお話します。私自身この20何年間、スポーツジムにずっとできるだけ通うようにしていて、その中でちょっと感じることは、スポーツジムで夕方の時間帯には若い方が来られるんですけど、私も平日で結構休みの日もあるので、午前中から行くと、すごく変化したなと思うことは、20数年前は女性が圧倒的に多かったです。高齢の方、女性が圧倒的に多くて、男性ってのは本当少なかったですよ。それがここ最近がらっと変わったのは、午前中とかに行くと女性と変わらないぐらいに男性の方がすごく増えてきました。初めて来られた人はトレーナーの方を付けて、教えてもらいながら器具の使い方をトレーニングしておられます。だからすごくそういうことも考えて何でそうなったか分かりませんが、健康志向もあるんでしょうね。男性の方がすごく増えてきた。私はエアロビクスもやるんですけど、昔は男性は1人や2人ぐらいで圧倒的に女性が多かったんですけど、そういうスタジオプログラムでも男性も少しずついい方向に少し変わってきているなと思っています。何か原因があるんでしょうけど、私ちょっとよくわからないですから、ぜひヒアリングの中で、松江市内も今頃たくさんスポーツクラブがあるので、そういったところのトレーナーといった方に、お客さんと向き合いながらお話を聞いてその人に応じたプランを作って差し上げている、そういった方とじっくりと1回お話をされるのはすごく有意義なんじゃないかなと思います。そういった方から、なぜ続けるのか、なぜやめちゃうのか、みたいなことも含めて、しっかり1回話してみられるのがいいんじゃないかなというふうに思っていました。

あと、検診とか受診をして、そこで言われて、運動しなければってなるときはあります。70%の目標ということになると、なかなか面倒くさいとか言う人も、やっぱりドクターとか検診とかで言われるとやるようになって、インナーマッスルとかそういうのを鍛えなさいということ先生がしっかり教えてくださると結構続けられるし、ちょっと難しいのかもしれないけど、医師会とかと連携してそういう指導とか、そういったことを松江市の中ではより進めていって促す。そうするとやっぱり身に迫るものがあるので運動を続ける、続けなきゃっていう気持ちになるんじゃないかなというふうに思っていました。

あと観光協会らしく言うと、前回も言ったかもしれませんが、森山委員からもありました松江らしさということで、やっぱりレガッタなんか大変いい。本当に松江の中心部にあって生活空間の中で信号機のないところでずっとランニングができたり、それから湖面を使ってレガッタしている風景を人にも見ていただくと、そういうことが自分もちょっとやってみようかなっていう気持ちの高揚に繋がるんじゃないかなと思うので、それは観光も含めてですけども、良い風景にもなるので、ぜひぜひやっていきたいな、一緒に組み立ててやっていければなと思っておりました。

あとはスポーツ大会というのは、ランニング大会でも大会は1日ですけども、その大会で走るために日常から少し鍛えておこうとか、そういうことに繋がるので、大会だけを思えば一過性のものだろうと思うかもしれないけど、それにやっぱり出た楽しみっていうのでそれを来年も出ようっていう目標に繋がることは確かなので、自分の感想ですけど、そういったことを申し上げて私の意見にしたいと思います。

○松浦会長

体験に基づいて、具体的な夢も語っていただきましたが、おっしゃるように、松江市内、スポーツジムの数が大変増えてきました。これは需要があるから増えている。競争が激しくなる。いい結果だと思っていますけれども、大変いいご発言をいただきましてありがとうございました。他にはいかがでございますか。この辺で副会長さん、ご発言をいただきたいと思っています。

○西村副会長

いろいろなご意見ありがとうございました。資料を見ながら私自身もいろんなことを考えていたんですけども、さらに皆さんのお話を伺って幾つか感じた点がありました。

一番は最初にも出てきました放課後こども広場や学童の部分で、私はテニス関係をやっているんですけども、松江市さんにご協力いただいて、毎週月曜日の放課後こども広場に、学童さんと協力をしながらテニスの出前をやっている。ほぼ全部の学校に、年に1回か2回なんですけれども。今、手のひらでやるテニピンといったものをやらせていただいて、全員強制ではなくて、やりたい子はやってねっていうと、年に1回ぐらいだとすごく楽しんでやってくれる。でもテニス協会はテニスしかできないので、先ほどあったラジオ体操ですとか、そういうところ、松江市さんが間に入っていて、各学童の方にプレゼンをさせていただいた上で、日程調整をして伺わせていただく。普段はこどもたちで自由に遊んでいるんですけども、その時だけはそういう種目に関わってもらえる。うちはテニスしかできないですけど、他の方に関わっていただくといろんな種目が、先ほどの偏食しないというような形が提供できるのかな。こどもたちはやりたいものだけ参加していくっていうような形ができればすごくいいのかなというふうに思いました。

それを聞きながらつながりづくりに関して思っていたのが、夕方のちょっと早い時間で、大学の学生とか夕方に手が空いている方々に指導に当たっていただいたりしているんですけども、そこにきっと公民館活動ですとか、そういったところでご協力いただきながら繋がりができればいいのかなというふうに思いました。

それに関連してすごく思ったのが、【参考資料1】の23ページを見ていて、30代から40代の女性の「全く取り組んでいない」の率が、同年代の男性に比べてすごく高い。これってやっぱり、もしかしたらまだまだ女性の方に子育て等がすごく負担になっているのかなあと。そう思ったのが次の25ページの「取り組まなかった理由」の年代別のところで、30代、

40代の「子どもに手がかかるから」は41.9%と24.6%。男女別では書いてないんですけども、すごくリンクしているのかなと思っています。学童の時代の子どもたちに運動習慣をつけてもらうことは一番大事だと思うんですけども、この年代の方々に、先ほどの平日の夕方とかに運動できる機会を提供することってすごく大事なのかな、特に、もしかしたら女性のほうがそういう時間に動けないでいるのかな。そこがうまく学童とリンクをして、子どもたちを連れてくる。そこで、子どもを預けてだけでなく自分たちも一緒に動けるような機会をうまく提供できると、ここの部分の実施率っていうのはすごい一気に上がるんじゃないのかなというふうに、今回データを見させていただいてすごく感じました。そのあたりのところいいアイデアといいますか、企画が出てくるとすごくいいなと思いました。

同じような企画の件で言うと、先ほどの見本市、本当にすごいなと思っています。年に1回しかない。これが本当に先ほど言ったように月1回になってくると、必ず月に1回は活動できるので一気に可能性上がってくるのかなと。これを企画していくっていうことが、施設を大きく変えなくてもきっとできると思うので、その時その時で協力できる団体ごとに、協力しながらこういった企画を立てていくということも、松江市全体のスポーツに関する活力を上げていくことに繋がるんじゃないのかなというふうに思っていました。

あと最後にインバウンドの件。僕も思っていました。会長さんも宝塚市と積極的に交流なさっているということで、特定の都市との交流ももちろんなんですけれども、松江に来ていただいた方と何か一緒にやれないかなと。松江市の中だけだと人に協力いただくのがなかなか難しいかもしれませんが、来ていただいた方たちも一緒に運営に関わってもらうような感じにすると、どんどん人が来てくださって、それが企画にも繋がっていく。そうすると交流が進んではいけないけれども、年に1回は来てくれて、イベントと一緒にやってくれるような交流。それが最終的に国際的なイベント、海外の方も参加できるようなイベント、多分マラソンとかもそうだと思うんですけども、そういうようなイベントを海外向けに発信していれば、来ていただいて、ボランティアもいかがですかみたいな形の募集をかけると、一緒に交流ができるのかなと。こういうふうな形でお話を伺っていました。

ちょっと取り留めがないですけども、皆さんのお話を聞きながら、子どもたちへの対策と、平日を中心に施設を有効活用して、働き盛りの方々に対しての施策っていうものをうまく組み合わせていくことで、より充実した松江市のスポーツ推進計画になっていくのかなというふうに感じました。私からの感想は以上になります。

○松浦会長

ありがとうございました。簡単にまとめの方針をとらまえていただき、さすがでございます。まだ時間がございますが、いかがでございますか。

(安部委員 挙手) はい、どうぞ。

○安部委員

すいませんちょっと1点言い忘れておまして、近年の障がい者スポーツ、私どもで企画してるのが主に日曜日、たまに土曜日とか、振替休日とかっていうのを使ってるんですけども、以前は結構たくさんいらっしゃったんですけども、最近は少ないです。何でかなって聞きましたら、自分で動ける方はいいんですけども、あまり動けない方、自分で来ることができない方、職員の方が連れて来ないといけないけども職員の方の余裕がない。ということをおっしゃって。職員の方が休日出勤なのか、それぞれ理由があると思いますけども、その方たちが動けるようになればもっと参加率が上がるだろうっていうことを非常に感じております。これは障がい者だけじゃないところでも、お年寄り、最近は免許返納とかっていう話もありますが、またこどもさんは当然車がないですから、駅とかどこかある程度大きなイベントになったらそこにシャトルバスを走らして、マイクロでも10人乗りでもいいですけども、そういったところで集めて会場に行くというような形をとれば少しは集まりやすくなるのかなあと感じました。何か手段がないかなと感じておりました。

○松浦会長

ありがとうございました。次々新しい提案が出てきますが、ひとつだけ私から提案しますけれども、この間、宝塚市の弁護士会の皆さんの案内をしました。ばけぼけの効果でへるん旧居の近辺に人が非常に多くなりました。1時間ほど近くにいましたけれども、その間に入りする人が非常に多かった。これからさらに増えるんじゃないかと思っています。そういう話題がひとつと、それからやっぱりスポーツは人が大事。核になる人を育てていく方向も考えていかなきゃいけないな。以上が私の提案でございます。

あと15分ございますので、どうぞ皆さんいかがですか。

(山縣委員 挙手) はい、どうぞ。

○山縣委員

今まで出なかった話で、島根かみあり国スポ・全スポ。今、中学生の話をちらっと聞いたんですが、国スポ・全スポに向けて、高校生にも何か取り組みをしているんでしょうか。

○事務局(佐々木課長)

今の高校生ではなくて、小学生の子が6年後に高校生になるときの競技力向上とか選手強化など、そういった取り組みを各競技団体さんがしていってらっしゃいます。それ以上のものは特にはないです。

○山縣委員

補助金的なことはあまりしてない。

○事務局(佐々木課長)

それはしてないです。

○山縣委員

分かりました。昨日の新聞で面白い情報がありまして、さっき言われました高齢者のフレイル、寝たきりになるちょっと手前、女性はそれが一番防げるのは登山で、男性はダンスなんだそうですよ。なので、簡単なものでしたら場所を取らずにできますし、簡単なダンスでも、そういうことを取り入れていただければ。あと何だかんだと言ってもやっぱり指導者。それをしてくれる指導者の育成が一番じゃないかと思います。

○松浦会長

ありがとうございました。次の方はどうぞ発言してください。

(湯町委員 挙手) 湯町さんどうぞ。

○湯町委員

国スポの関係であわせてちょっとお尋ねですけども、ひとつ、人の問題から言うと、競技団体によっては、くにびき国体の頃の方が今でも競技役員として頑張っておられます。そういった競技役員の養成とか、選手の育成強化、これは県の担当になるのかもしれませんが、そのあたりの役割分担、松江市はどういったことを担当するのかちょっとご説明いただければと思います。

○事務局（佐々木課長）

ありがとうございます。選手の育成強化とか団体の指導者とかも含めての強化というのはすべて県のほうで競技団体をお願いをしていらっしゃる。松江市は受け入れ体制、当日の会場の運営ですとか、或いはいらっしゃる方へのおもてなしとか、そういったのが中心になってくるということで役割分担をしています。あと会場設備整備、そういったところをやっているところでございます。

○湯町委員

重点施策で、国スポ・全スポって書いてある割には、中央団体の視察としか書いてなくて競技団体なんかもうちょっと膨らまして書いておかれた方がいいのかなと思って質問したところです。以上です。

○事務局（佐々木課長）

ありがとうございます。今後の取り組みの中で、少し入れさせていただこうと思います。

○松浦会長

他にはいかがでございますか。
(坂元委員 挙手) はい、どうぞ。

○坂元委員

津田の坂元でございます。普段スポーツをされて元気な方は、声をかけたらすぐ参加される方たちが多いんですけども、高齢になるとなかなか出かけられない。地域の公民館で、そういう方たちに来てもらって少しでも体を動かしてもらうような生きがいをづくりをしていきたいと思っております。若い方は放っておいてもどこでも行かれますが、手段がない、雨が降ったら出掛けられないという人は、車を運転される方たちが何人か連れて来られるんですけども、そういう方たちの生きがいをづくりを地域でこれからもどんどんやっていきたい。スポーツは嫌いだっていう方も結構いらっしゃるんで、スポーツじゃなくて歌でも踊りでもいいから、じゃあ、歌おうか、踊ろうかっていう感じで、外に出られない方たちを何とかして、1人でも2人でも、月に1回、生きがい事業としてやっていて、だんだん増えております。津田公民館でございました。

○松浦会長

ありがとうございました。あといかがですか。よろしいですか。
(白水委員 挙手) はい、どうぞ。

○白水委員

今ご指摘いただいたのでちょっと参考までですけど、おそらくご指摘のとおり、基礎的な動作だけでもすごく健康にはいいんで、他の地域というウォークアブルなまちづくりみたいなのもよく聞きます。要は、動線ですよ。その都市設計みたいなところも当然関係します。なので、他の委員会でもいろいろ検討されていますけど、そういうところも、スポーツではないかもしれませんが、健康という視点で、まちづくりとも一緒に連携しながら検討いただけるとありがたいと思います。

○松浦会長

はい。ありがとうございました。よろしいですか。
(福田委員 挙手) はい、どうぞ。

○福田委員

話がずれるかもしれませんが、やっぱり地震とか災害とかっていうのは、無視できません。こういったスポーツの審議会も、何らかスポーツされている方の集まりじゃないかなと思うんです。個人的に今ふっと思い出したことがあって、私の夫は文化系で運動は得意ではないんですけど、2人で出た町内の体育祭で二人三脚で前の人を抜いてゴールしたときに

はすごく感激しておりました。それをいまだに思い出しながら、話すことがあります。そういった、ちょっとしたことで、きっかけを作って、スポーツに携わってない方を引き込むっていうことも、ひとつ意味があるんじゃないかなって体験を通して思いました。

さっきの公民館の話やいろんな観光関係の話、経済的な分野やいろんな立場から集まっておられまして、私はスポーツ推進委員という協議会からの立場で物を言わないといけないんですけど、最初に言いました震災とか、そういったときに、結局は体力勝負じゃないかなと思うんです。だから体力をつけておくということが、ひいてはそういったときに、躊躇なく動ける身の安全を確保した上で、地域の人に貢献できる、そういったことを踏まえながら、何かスポーツをしていける人を増やしていきたいなって、そう感じました。ちょっと具体的な施策には、あまり役に立ちませんが。

○松浦会長

ありがとうございました。スポーツの喜びが次の活動の原動力になるという、大変貴重なご発言だったと思います。ありがとうございました。皆さんに大体ご発言をいただいたところでございますが、よろしいでしょうか。そうしますと、副会長さんに何かご発言があればお願いしたいと思います。

○西村副会長

皆さんありがとうございました。松江市さんから素晴らしい推進計画の素案をいただきましてさらに皆さんから貴重なご意見をいただいたことで、この素案がしっかりと固まっていくことが期待できるかと思います。皆さん方のご意見をもとにしながらこの素案をしっかりと固めていただいて、市民の皆さんからのご意見を聞く機会もありますので、それを踏まえてご提案いただいた最終案に沿って、より良いスポーツ推進計画が策定され、松江市のスポーツ、そして松江市民の皆さんの健康がますます高まることが期待できるかなというふうに思います。皆さん方どうもありがとうございました。会長さんよろしくお願いします。

○松浦会長

どうもありがとうございました。まとめていただきましたので、私から何も言うことはございません。大変いろいろな立場からご意見をいただきましてありがとうございました。これでこの全体的なお話は終わらせていただいて、事務局にマイクをお返しします。ご協力に感謝申し上げます、司会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○事務局（山尾係長）

松浦会長様、円滑な議事進行していただき、ありがとうございました。事務局から何点か事務連絡をさせていただきます。

○事務局（三原）

スポーツ課の三原でございます。お配りしている中に、意見提出表と日程調整表がございます。今日たくさんご発言いただきましたけれども、この後、また気づかれたことなどがあれば、この意見提出表にお書きいただいてメールまたはファックスで提出いただければと思います。日程調整表については、年明けの2月に審議会を開催させていただいてお諮りしたいと思っております。いずれも11月11日月曜日を締め切りとさせていただいております。今回の議事録でございますが、公開の会議でございますして、議事録を後程ホームページに掲載いたします。後日皆様に確認をお願いさせていただきますので、よろしくお願いいたします。事務連絡は以上でございます。

○事務局（山尾係長）

それでは、閉会にあたり、文化スポーツ部長、桑原よりご挨拶申し上げます。

○桑原部長

本日は委員の皆様におかれましては大変貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。今日いろいろご意見をいただく中で、スポーツというものの生きがいづくりのために非常に大事なものだということを思ったところではございますけれども、改めて健康づくりとかそれから生活の質の向上、そういったことにつきましても非常に大事なものだということを改めて感じたところでございました。委員の皆様のご意見を踏まえまして引き続き計画の策定に取り組んで参りたいと思っております。委員の皆様におかれましては引き続きご指導賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

○事務局（山尾係長）

以上をもちまして、令和6年度第2回松江市スポーツ推進審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。

〔11時30分 閉会〕